

## 0.1 R4 数学選択

[A] (1)  $(\alpha_5^2 - 5)^2 = 5$  である. よって  $x^4 - 10x^2 + 20 = P_5(x)$  は  $\alpha$  を根にもつ. アイゼンシュタインの既約判定法から  $P_5(x)$  は  $\mathbb{Z}[x]$  上既約であり,  $\mathbb{Z}$  は  $UFD$  で  $P_5$  はモニック多項式であるから  $P_5$  は  $\mathbb{Q}[x]$  上既約である.

(2)  $P_5$  の根は  $\pm\sqrt{5 \pm \sqrt{5}}$  である.  $\sqrt{5 + \sqrt{5}}\sqrt{5 - \sqrt{5}} = \sqrt{20} = 2\sqrt{5}$  であり,  $\alpha^2 - 5 = \sqrt{5} \in \mathbb{Q}(\alpha_5)$  より  $P_5$  の根は全て  $\mathbb{Q}(\alpha_5)$  に属す. よって  $L_5 = \mathbb{Q}(\alpha_5)$  である.

(3)  $\sigma \in \text{Gal}(L_5/\mathbb{Q})$  を  $\sigma(\alpha_5) = \sqrt{5 - \sqrt{5}}$  とする.

$\sigma(\sqrt{5}) = \sigma(\alpha_5^2 - 5) = (\sqrt{5 - \sqrt{5}})^2 - 5 = -\sqrt{5}$  である. よって  $\sigma^2(\sqrt{5 + \sqrt{5}}) = \sigma(\sqrt{5 - \sqrt{5}}) = \sigma(\frac{2\sqrt{5}}{\alpha_5}) = \frac{-2\sqrt{5}}{\sqrt{5 - \sqrt{5}}} = -\alpha_5$  である.

よって  $\sigma$  は位数 4 の元であり,  $\text{Gal}(L_5/\mathbb{Q})$  は位数 4 の群であるから巡回群.

(4)  $P_4$  の根は  $\pm\sqrt{4 \pm \sqrt{5}}$  である.  $\sqrt{4 + \sqrt{5}}\sqrt{4 - \sqrt{5}} = \sqrt{11} \in L_4$ ,  $\sqrt{4 + \sqrt{5}}^2 - 4 = \sqrt{5} \in L_4$  である. よって  $\mathbb{Q}(\sqrt{11}, \sqrt{5}) \subset L_4$  である.

$\sqrt{11} = a + b\sqrt{5}$  ( $a, b \in \mathbb{Q}$ ) とする.  $11 = a^2 + 2ab\sqrt{5} + 5b^2$  より  $2ab\sqrt{5} = a^2 + 5b^2 - 11 \in \mathbb{Q}$  であるから  $ab = 0$  である.  $a = 0$  なら  $5b^2 = 11$  であるが, これは両辺の 11 の指数を比べれば右辺は奇数であり, 左辺は偶数である.  $b = 0$  なら  $a^2 = 11$  であり, これも 11 の指数を比べれば矛盾すると分かる.

よって  $\sqrt{11} \notin \mathbb{Q}(\sqrt{5})$  である.

$L_4/\mathbb{Q}$  が 4 次巡回拡大なら  $\text{Gal}(L_4/\mathbb{Q}) \cong m\mathbb{Z}/4\mathbb{Z}$  である.

したがって  $L_4/\mathbb{Q}$  は非自明な異なる中間体  $\mathbb{Q}(\sqrt{11}), \mathbb{Q}(\sqrt{5})$  をもつが, これは  $\text{Gal}(L_4/\mathbb{Q}) \cong m\mathbb{Z}/4\mathbb{Z}$  であることに矛盾する. よって  $L_4/\mathbb{Q}$  が 4 次巡回拡大でない.

[B] (1)  $\mathbb{Z}[x]/(p, x^2 + ax + b) \cong (\mathbb{Z}[x]/(p))/((p, x^2 + ax + b)/(p)) \cong \mathbb{F}_p[x]/(x^2 + \bar{a}x + \bar{b})$

(2)  $\mathbb{Z}[x]/(3, x^2 + 9x - 1) \cong \mathbb{F}_3[x]/(x^2 - 1)$  であり,  $x^2 - 1 = (x - 1)(x - 2) \in \mathbb{F}_3[x]$  であるから整域でない.

(3) 環として同型なら同型写像  $\varphi: \mathbb{Z}[x]/(x^2 + 9x - 1) \rightarrow \mathbb{Z}[x]/(x^2 + 9x + 3)$  がある.  $\varphi(3) = 3$  であるから  $(\mathbb{Z}[x]/(x^2 + 9x - 1))/(3) \cong (\mathbb{Z}[x]/(x^2 + 9x + 3))/(3)$  である.

$(\mathbb{Z}[x]/(x^2 + 9x - 1))/(3) \cong (\mathbb{Z}[x]/(x^2 + 9x - 1))/((3, x^2 + 9x + 1)/(x^2 + 9x - 1)) \cong \mathbb{Z}[x]/(3, x^2 + 9x - 1) \cong \mathbb{F}_3[x]/(x^2 - 1) \cong \mathbb{F}_3[x]/(x - 1) \times \mathbb{F}_3[x]/(x - 2) \cong \mathbb{F}_3^2$  である. よって零元でないべき零元をもたない.

$(\mathbb{Z}[x]/(x^2 + 9x + 3))/(3) \cong \mathbb{Z}[x]/(3, x^2 + 9x + 3) \cong \mathbb{F}_3[x]/(x^2)$  は  $x$  が零元でないべき零元である. これは矛盾. よって同型でない.